

県市協調新ホール整備基本計画の概要について

1 策定の趣旨

「県市協調新ホール整備基本方針」を踏まえ、新ホール整備のより具体的な内容を定める。

2 基本計画の概要

(1) 新ホールの位置づけ

- ・ 「県立施設」として、県が主管する。
- ・ 県市協調の連携内容や役割分担について、協定書を締結して取組みを推進する。

(2) 県市役割分担等

- ・ 県は外構等を含む「ホール本体の設計・整備」を担う。
- ・ 市は「市有地の提供」「市道や下水道等の周辺インフラ整備」等を担う。
- ・ 「既存建築物の撤去」については、県有か市有かにより所有者が実施する。
- ・ 協調・連携内容、役割分担等を明らかにする「県市協定書」を締結する。

(3) 基本目標

県全体の文化芸術の振興や、県都のにぎわいの創出等の中核施設としての役割を担うことから、豊かで活力ある地域社会の実現に向けた整備を進めるため、「徳島ならではの文化芸術の力を結集し、夢と希望あふれる未来を創生する」を基本目標とする。

(4) 施設の使命

- ・ 徳島ならではの新たな文化芸術を創造し、魅力を発信する。
- ・ 徳島の文化芸術の未来を担う人材を育てる。
- ・ 県民に優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供する。
- ・ 国内外の多くの人々が集う施設となり、県全体の活力を向上させる。

(5) 建設用地

- ・ 建設予定地として「旧・徳島市立文化センター跡地」「現・徳島青少年センター敷地」に「現・徳島市中央公民館、徳島市社会福祉センター」を加える。
- ・ 「寺島公園」、「旧・徳島中央警察署敷地」を一体的に活用する。
- ・ J R 四国等との緊密な連携の下、J R 牟岐線への新駅設置を検討する。

(6) 事業展開の方向性

- ・ 文化創造、魅力発信事業
- ・ 次世代人材育成事業
- ・ 鑑賞機会提供事業
- ・ にぎわい創出事業

(7) 施設整備の基本的事項

- ・ 全ての利用者の希望に応え、活気に満ち、思わず立ち寄りたくなる拠点
- ・ 「阿波おどり」「阿波人形浄瑠璃」の公演・練習への配慮など、「徳島ならではの」の特徴を持った拠点

(8) 施設構成と機能

- ・ 大ホールエリア
大ホール（１８００席～２０００席）、ホワイエ関係、舞台関係等
- ・ 小ホールエリア
小ホール（３００席～５００席）、多目的スタジオ等
- ・ 文化創造エリア
活動室、会議室等
- ・ 交流・にぎわい創出エリア
エントランス、交流ロビー、展示スペース等
- ・ 管理業務エリア
管理事務室、通路、機械室等

(9) 歴史への配慮、埋蔵文化財の適切な保護

旧文化センター等の建設、整備による地下遺構への影響を見極め、保存方法の検討を行った上で適切な保護を図る。

(10) 整備手法について

「設計・施工一括発注方式」のうち「設計交渉・施工タイプ」

(11) 事業費

- ・ 本体工事費 約１８０億円
- ・ 設計・工事監理費、調査費 約１４億円
- ・ 外構・駐車場整備費、備品費 約１２億円 等

(12) 整備スケジュール

「大阪・関西万博」の波及効果を視野に入れ、２０２５年度の開館を目指す。

(13) 管理運営の基本的事項

- ・ きめ細かなサービスの提供
- ・ 既存概念にとらわれない文化芸術の専門性の確保
- ・ 文化芸術活動を安定的に継続させる施設管理
- ・ 経営的視点を持った管理運営
- ・ 事業評価の仕組みの構築